

栃木県わがまち未来創造事業計画（実績）書（市町総括表）

【単独・連携事業】

市町名	矢板市
-----	-----

No.	単位事業名	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	合計	
1	ともなり文芸祭り	総事業費		1,428,225	1,388,523	1,095,887	1,101,000	5,013,635
		うち市町支出額		1,200,000	1,200,000	1,000,000	1,000,000	4,400,000
		うち県交付金		600,000	600,000	500,000	0	1,700,000
2	「つつじの郷やいた花火大会」事業	総事業費		14,924,069	15,420,889	13,724,454	15,500,000	59,569,412
		うち市町支出額		1,300,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	7,300,000
		うち県交付金		650,000	1,000,000	1,000,000	0	2,650,000
3	「木の駅プロジェクト」事業	総事業費		3,854,887	3,567,459	21,859,333	3,950,000	33,231,679
		うち市町支出額		500,000	500,000	500,000	500,000	2,000,000
		うち県交付金		208,432	250,000	250,000	0	708,432
4	川崎城跡公園周辺地域再生事業	総事業費		573,281	754,328	402,412	426,000	2,156,021
		うち市町支出額		500,000	470,000	270,000	270,000	1,510,000
		うち県交付金		218,976	235,000	135,000	0	588,976
5	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業	総事業費			622,002	339,633	239,552	1,201,187
		うち市町支出額			600,000	300,000	100,000	1,000,000
		うち県交付金			300,000	150,000	100,000	550,000
6	「環境文化都市やいた創造会議」事業	精算額				1,099,222	1,185,000	2,284,222
		うち市町支出額				1,027,000	1,027,000	2,054,000
		うち県交付金				513,500	513,500	1,027,000
7	「日本遺産」プロモーション事業	総事業費				4,871,314	1,850,000	6,721,314
		うち市町支出額				4,200,000	1,850,000	6,050,000
		うち県交付金				1,000,000	925,000	1,925,000
8	「やいた片岡ロードレース」事業	総事業費				5,580,000	5,000,000	10,580,000
		うち市町支出額				2,000,000	2,000,000	4,000,000
		うち県交付金				1,000,000	1,000,000	2,000,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	20,780,462	21,753,201	48,972,255	29,251,552	120,757,470
		うち市町支出額	0	3,500,000	4,770,000	11,297,000	8,747,000	28,314,000
		うち県交付金	0	1,677,408	2,385,000	4,548,500	2,538,500	11,149,408

(単位:円)

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	ともなり文芸祭り
事業主体の名称	ともなり文芸祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 松平 祐宣
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:優れた歌人として、鎌倉時代の文学史を飾った本市初代川崎城主塩谷朝業翁を偲び、ともなり文芸祭りを開催することにより、本市文化の創造と本市のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成13年5月23日</p> <p>・構成員等:文芸に秀でた市民10人が委員となっており、近代短歌研究者である篠弘氏が顧問を務める。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>優れた歌人・塩谷朝業にちなみ、平成7年度、栃木県で開催された第10回国民文化祭において、矢板市が短歌会場となり大勢の愛好者が集った。これを契機に市民の文芸熱も高まり、この後、ともなり文芸祭りが開催されることとなった。</p> <p>平成26年度の第16回大会から誌上大会となり、県内から短歌、俳句、川柳、詩の4部門において作品を募っている。短歌一般の部は全国から募集することし、多くの応募があることから本市の知名度・イメージ向上に寄与しているが、文芸を通して市民に郷土愛の醸成を図っていくことが課題になっている。</p>
事業目的	短歌・俳句・川柳・詩を通して市民文化が更に深化・発展することにより、心豊かな地域づくりを図り、本市の知名度やイメージ向上のみならず、郷土愛の醸成を図る。
事業概要	<p>【2019年度】</p> <p>矢板市の更なるPRや市民の向上心醸成を図るため、短歌部門において全国から作品を募集するほか、市内小中学校と連携したことで、印刷し配布した応募用紙5000枚を大きく上回る、8440点の応募があった。例年は3月に表彰式を実施しているが、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止した。</p> <p>①実行委員会の開催(通年・計5回開催)</p> <p>②文芸作品の募集(7月～9月)</p> <p>③入賞作品の審査・講評(10～1月)</p> <p>④入賞作品集の発行</p> <p>【2020年度以降】</p> <p>本事業を通して文芸熱、郷土愛の醸成が図られるよう、広く作品を公募しながら本事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:各世代を支援する</p> <p>KPI:児童生徒におけるふるさとへの愛着度(%) 現状値(H26) 実績なし → 90.0(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	2017年度	2018年度	2019年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行		①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行
事業費	1,428,225	1,388,523	1,095,887	3,912,635	1,385,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,200,000	1,200,000	1,000,000	3,400,000	1,200,000
うち県交付金	600,000	600,000	500,000	1,700,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	228,225	188,523	95,887	512,635	185,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	生涯学習課 文化担当
担当者名	平山 明美
電話	0287-43-6218
連絡先 FAX	0287-43-4436
E-mail	gakusyu@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市		
単位事業名	ともなり文芸祭り		
対象年度	2019	年度	

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	1,000,000	
投稿料	93,000	短歌一般投稿料(1,000円×93組)
雑収入	504	銀行利息、作品集販売代
繰越金	2,383	前年度繰越金
計	1,095,887	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	8,393	0	0	8,393	事務用消耗品
報償費	484,114	450,000	225,000	34,114	選者謝金、入賞者商品
印刷製本費	485,739	450,000	225,000	35,739	要項チラシ(6500枚)、ポスター(500枚)、作品集(500)
通信運搬費	107,952	100,000	50,000	7,952	投稿関係通知郵送料
広告費	0	0	0	0	広告掲載料
手数料	1,940	0	0	1,940	振込手数料
次年度繰越金	7,749	0	0	7,749	
				0	
				0	
				0	
計	1,095,887	1,000,000	500,000	95,887	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	「つつじの郷やいた花火大会」事業
事業主体の名称	やいた花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 東泉 清寿
事業主体の所在	矢板市本町2番18号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市民手作りの花火大会により、市を盛り上げ、活性化することを目的とする。 ・設立年月日:平成19年5月14日 ・構成員等:各種団体や商工会の関係者等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市の花火大会は、秋の風物詩として毎年10月に実施しており、大会は日中に行う「ファミリータイム」と、日没後に行う「花火大会」の二部構成で行っていた。</p> <p>他の地域と花火大会の時期が異なっていることもあり、当日は市内外から多くの来場者がいるが、花火に集客が偏っており、日中から市内を訪れ、周遊してもらような機会にしていことが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・昼夜ともに市内外から多くの人が集まることで地域イメージの向上を図るとともに、市民手作りのイベントを実施することで、地域の繋がりを深める。 ・本事業を通じて、来場者に対して本市の魅力を発信し、市への来訪者増加を図るとともに、市内周遊や市内施設の利用促進を促すことにより地域活性化を図る。
事業概要	<p>【2019年度】</p> <p>上記の課題を解決するため、市民有志によるイベントを企画し実行に移すこととし、実行委員会を組織し協議を実施した。また、様々なサービスを付加した有料シートを設け、収益体制の強化を図った。花火大会は市外から多くの方が来るイベントでもあるので、この機会に積極的な本市のPRに努めるため、様々な主体と連携して事業の準備を進めた。しかしながら、当日に襲来した台風19号の影響のため、花火大会は中止となった。市からの補助金は、全額花火打ち上げ費に支出しており、当日打ち上げはなかったものの、設営、準備に要した費用や、準備した花火の保管、転用は困難なことから、当初予算額通りではないものの、一部を支出している。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>来場者の数や市内周遊の状況を踏まえ、取組みの改善を図りながら本大会を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H30実績:1,849,093]</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H30実績:1,152,762]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	2017年度	2018年度	2019年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催	①多様な主体による企画検討 ②「ふるさとまつり」開催 ③「花火大会」開催	①多様な主体による企画検討 ②「花火大会」開催		①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催
事業費	14,924,069	15,420,889	13,724,454	44,069,412	13,724,454
市町支出金 (ソフト事業分)	1,300,000	2,000,000	2,000,000	5,300,000	2,000,000
うち県交付金	650,000	1,000,000	1,000,000	2,650,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	13,624,069	13,420,889	11,724,454	38,769,412	11,724,454

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	大谷津 東人
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svyokou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	
単位事業名	「つつじの郷やいた花火大会」事業	
対象年度	2019	年度
科目	精算額	備考
市補助金	2,000,000	
協賛金	11,254,783	企業等からの協賛金
雑収入	92,862	出店料、預金利息
繰越金	376,809	前年度繰越金
計	13,724,454	

1 収入の部

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	99,381	0	0	99,381	事務用消耗品
印刷製本費	198,180	0	0	198,180	ポスター作製(400部) チラシ作製(4000部) 交通規制チラシ(2500部)
広告宣伝費	698,988	0	0	698,988	新聞折り込み広告掲載費
通信運搬費	129,259	0	0	129,259	協賛金寄付案内・売店募集 案内通知郵送料、電話代
委託料	6,567,750	2,000,000	1,000,000	4,567,750	花火打上げ費(500万円) イベント会場設営費(147万円) ※本補助金充当先
報償費	0	0	0	0	イベント出演料等
食糧費	23,642	0	0	23,642	会議費(お茶等食糧費含む)
火災保険料	178,700	0	0	178,700	損害保険料
手数料	62,054	0	0	62,054	申請書手数料、振込手数料
次年度繰越金	5,766,500	0	0	5,766,500	花火打ち上げ費用、会場設 営費用、警備費用の一部が キャンセルにより予算額より 減少したため発生
計	13,724,454	2,000,000	1,000,000	11,724,454	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業調書）

【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	「木の駅プロジェクト」事業
事業主体の名称	木の駅プロジェクト実行委員会
代表者の名称	佐野 幸隆
事業主体の所在	矢板市本町2-18
事業主体の概要	<p>・団体の目的：林内に放置されている未利用材を利用する仕組みを構築し、森林所有者等による搬出の取組み意欲を促進する。あわせて、間伐の推進と間伐材の有効利用により、地域の林業・木材産業の活性化及び地域通貨の流通により商業の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日：平成28年4月1日</p> <p>・構成員等：山林所有者、商工会、商店会等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、市内の6割を森林が占めているが、間伐等が行き届かない状態となっており、森林の水源涵養や土壌保全能力等の機能低下が危惧されているほか、林内に放置された間伐材の撤去が課題となっている。</p> <p>他方では、市内の商業面においても売上減少等による商店街の衰退が見受けられ、林業・商業等を連携させた地域経済の活性化が求められている。</p>
事業目的	<p>林地残材を資源として有効活用することにより、植林・青樹・伐採という本来の山林活用サイクルが可能となり、里山の森林整備が促進される。</p> <p>また、本事業を通じた仲間づくりや地域コミュニティの醸成や残材の販売によって地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>【2019年度】</p> <p>①間伐材の受け入れ これまで活用されていなかった間伐材を受け入れ、チップに加工することにより、間伐の促進による森林保全を促進し、あわせて、製造された木材チップを地域の資源として活用した。</p> <p>②地域通貨券の発行 商工会と連携し、間伐材の搬入量に応じた地域通貨券を発行した。</p> <p>③出荷者向け安全講習会の開催</p> <p>④台風19号による被災農家への復旧資材提供事業 台風19号により市内の農業者、林業者についてはのり面崩落等、甚大な被害を受けた。それに対し、本団体では市が実施する被災農家等への復旧資材原材料支給制度に協力し、復旧資材の加工や被災農家等への配布を実施した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標：安定した雇用を創出する</p> <p>KPI:市内民間従業者数(人) 12,168(H24)⇒12,168(H31)[H28年度実績：14,944]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	2017年度	2018年度	2019年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④「大切な山のお話」をテーマにした講習会の開催	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④「大切な山」をテーマにした講習会開催	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④災害復旧資材の製造・配布		①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催
事業費	3,854,887	3,567,459	21,859,333	29,281,679	21,859,333
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	208,432	250,000	250,000	708,432	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	3,354,887	3,067,459	21,359,333	27,781,679	21,359,333

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農林課林政担当
担当者名	齋藤 敦子
電話	0287-43-6210
FAX	0287-44-3324
E-mail	neurin@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	矢板市	
単位事業名	「木の駅プロジェクト」事業	
対象年度	2019	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
事業収入	19,279,853	間伐材販売収入 単価 ¥3,780×608t=2,301千円。 原料料支給制度による資材売上 16,070千円
市補助金	500,000	
負担金	1,601,000	木材買取事業者、森林組合、商工会、市健康増進課より
分担金収入	0	講習会参加負担金
手数料	77,790	換金手数料3,889,500×2%
雑収入	10	預金利子
前年度繰越	400,680	
計	21,859,333	

2 支出の部

精算額

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	0	0	0	0	事務用消耗品
通信運搬費	20,454	0	0	20,454	郵送料、切手代
報償費	3,889,500	500,000	250,000	3,389,500	地域通貨発行費（7,779枚×500円） ※本補助金充当先
印刷製本費	0	0	0	0	
委託料	1,880,000	0	0	1,880,000	資材運搬委託料
旅費	391,343	0	0	391,343	視察研修費
食糧費	94,350	0	0	94,350	会議お茶代等
原材料費	14,639,680	0	0	14,639,680	災害復旧資材用原材料購入費
広告宣伝費	69,076	0	0	69,076	軽トラ市・まちゼミ等における普及啓発
雑費	218,456	0	0	218,456	振込手数料・寄付金
次年度繰越金	656,474	0	0	656,474	
計	21,859,333	500,000	250,000	21,359,333	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節（需用費、役務費は細節）の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業
事業主体の名称	川崎城跡公園再生市民会議
代表者の名称	代表 石下 福一郎
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:川崎城跡周辺の景観整備や周辺地域を活性化するためのイベント実施等を目的とする ・設立年月日:平成19年5月17日 ・構成員等:活動の趣旨に賛同する矢板市内の個人及び団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>川崎城跡公園は約800年前、塩谷地方を領有していた塩谷氏が築城した川崎城の跡地を整備した公園である。毎年8月に「あんどんまつり」を開催しているが、市民への告知が十分ではなく、来場者の滞在時間も短い。あんどんを灯した風景をより楽しんでもらうには、公園内のみならず周辺の美化活動等も重要であり、一層の景観整備が必要になっている。</p> <p>さらに、「あんどんまつり」も11年目を迎えることから、より地域住民が主体となった取組みとしていくことが課題である。</p>
事業目的	<p>・矢板市のシンボルのひとつである「川崎城跡」にある川崎城跡公園を地域に愛される公園とするとともに、地域の活性化に寄与することを目的とする。</p>
事業概要	<p>【2019年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①草刈などを中心とした公園内の景観整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の環境団体が実施するイベントと連携し、川遊びをするとともに親子が景観整備事業に参加することを通じて、公園への関心と祭りへの参加機運を高めるための取組を実施する。 ②あんどんまつりの実施(8月24日実施) <ul style="list-style-type: none"> ・必要な事業を精査してスリム化を図るとともに、より地域に密着した市民の郷土愛醸成を目的とした祭りとした。 ・メインである5000個の「あんどん」設置に加えて、地元の子どもたちによる「よさこいソーラン」や「吹奏楽」のほか、来場者が参加できる企画を実施した。 <p>【令和2(2020)年度以降】</p> <p>これまでの取組みの改善を図りながら、地域の魅力発信の取組みを進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H30実績:1,849,093] 道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H30実績:1,152,762]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	2017年度	2018年度	2019年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業費	573,281	754,328	402,412	1,730,021	426,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	470,000	270,000	1,240,000	270,000
うち県交付金	218,976	235,000	135,000	588,976	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	73,281	284,328	132,412	490,021	156,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	都市整備課 都市計画担当
担当者名	手塚 宏子
電話	0287-43-6213
連絡先 FAX	
E-mail	tosiseibi@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	
単位事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業	
対象年度	2019	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	270,000	市補助金
負担金	55,000	物産展出店料
雑収入	56,000	寄付金等
繰越金	21,412	前年度繰越金
計	402,412	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考 ※()内は別添団体決算書の 支出科目
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	43,942	43,000	21,500	942	環境整備時・イベント出演時 謝金(事業費)
消耗品費	46,541	46,000	23,000	541	あんどん用ろうそく、イベント 準備時消耗品(事業費)
燃料費	5,806	5,000	2,500	806	草刈り機用燃料(事業費)
通信運搬費	9,240	9,000	4,500	240	通知郵送料(事務費)
火災保険料	9,500	9,000	4,500	500	作業保険料(事業費)
委託料	134,504	134,000	67,000	504	警備委託料(事業費)
使用料及び賃借料	24,840	24,000	12,000	840	パワーライトリース料(事業 費)
食糧費	49,039	0	0	49,039	出演者用食事代等 (会議費:7694円、事業費の 一部:41,345円)
次年度繰越金	79,000	0	0	79,000	
計	402,412	270,000	135,000	132,412	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業
事業主体の名称	Yaita All Directions
代表者の名称	代表 権貝 菜月
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:「高校生の居場所づくり」を目指して、高校生が主体的に活動する。また、高校生が地域の方たちと関わり合いながら、矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。 ・設立年月日:平成30年7月 ・構成員等:矢板市内に居住・在学する高校生および本会の目的に賛同する高校生
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市では、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進行していることから、地域の活力低下などが課題となっている。そこで、市内の3高校の生徒が中心となり立ち上げる学生団体「Yaita All Directions」の取り組みを通じて、地域活性化を図るとともに、地域の担い手としての育成を目指す。</p>
事業目的	<p>「高校生の居場所づくり」を目指した活動を支援する。 また、高校生が矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>矢板市主催のまちづくりを学ぶ「矢板武塾」において、平成28年度に市内の中学3年生～高校2年生に行ったアンケートによると、「矢板駅周辺に高校生が勉強しやすい場所(個人・集団スペースあり)や交流する場所がほしい」との意見が大半となった。そのため、将来的に高校生が気軽に集うことのできる「高校生の居場所づくり」を考える必要がある。今回、立ち上げる団体では、高校生が主体的にまちを盛り上げる取り組みを行い、活動を通じて「居場所」を体感するとともに、活動拠点を設け、その場所がメンバー以外も含め、高校生の集まる「居場所」となっていくようにしたい。2年目となる今年度は、活動の継続および拠点整備の完了、拠点での活動を開始する。</p> <p>【2019年度】</p> <p>①拠点「高校生カフェ」 ・地域おこし協力隊が運営する組織「矢板ふるさと支援センター-TAKIBI」の内に拠点として「高校生カフェ」を整備。団体の定例会等を実施した。</p> <p>②まちあるきマップ ・まちあるきマップ第1弾の配布およびメンバーの募集を実施した。 ・まちあるきマップ第2弾を作成、配布した。</p> <p>③イベント参加による団体PR ・10月開催の矢板市花火大会への出展および団体のPRをする計画であったが、台風19号の襲来により花火大会が中止となったため、出展も中止せざるを得なくなった。</p> <p>④その他ほか ・SNSを活用した団体及び地域に関する情報発信、主にTwitterを利用したPRを実施し、対象となる高校生に向け情報発信を行った。 ・ボランティアに取り組み中高生を対象とした国際的な賞である、第23回ボランティアスピリットアワードを受賞した。</p> <p>【2020年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点にて、活動の継続および新規事業を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:各世代を支援する KPI:児童生徒におけるふるさとへの愛着度(%) 現状値(H26) 実績なし → 90.0(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	2018年度	2019年度	2020年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①まちあるきマップの作成 ②団体のPR活動(イベントでの出店) ③高校生カフェに向けた準備 ④SNSを活用した情報発信	①団体のPR活動・メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③高校生カフェに向けた準備・実施 ④SNSを活用した情報発信	①団体のPR活動・メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③高校生カフェの実施 ④SNSを活用した情報発信		①まちあるきマップの作成・スタンプラリーの実施 ②高校生カフェの実施 ③SNSを活用した情報発信
事業費	622,002	339,633	239,552	1,201,187	305,000
市町支出金(ソフト事業分)	600,000	300,000	100,000	1,000,000	300,000
うち県交付金	300,000	150,000	100,000	550,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	22,002	39,633	39,552	201,187	5,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工担当
担当者名	主任 相馬 智美
電話	0287-43-6211
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	
単位事業名	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業	
対象年度	2019	年度
1 収入の部		
科目	精算額	備考
市補助金	300,000	
雑収入	20,000	預金利息・ボランティアスピリットアワード賞金
繰越金	19,632	前年度繰越金
計	339,633	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	14,039	14,000	7,000	39	事務用消耗品・ユニフォーム 作成代・資料代
印刷製本費	29,700	29,700	14,850	0	チラシ・マップ印刷代
通信運搬費	0	0	0	0	通知等郵送代
使用料及び賃借料	0	0	0	0	バス借上料、高速代、駐車場 代
火災保険料	10,850	10,850	5,425	0	ボランティア保険料
備品購入費	143,302	143,300	71,650	2	会議・イベント用備品 (プロジェクター)
委託料	102,190	102,150	51,075	40	マップデザイン委託
次年度繰越金	39,552	0	0	39,552	
			0	0	
計	339,633	300,000	150,000	39,633	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単体事業調査)
【単体事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	「環境文化都市やいた創造会議」事業
事業主体の名称	環境文化都市やいた創造会議
代表者の名称	理事長 小川 修市
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市内の環境保全や環境問題について啓発し、市民の自主的な環境保全活動を活性化させることを目的としている。 ・設立年月日:平成27年11月 ・構成員等:市内を中心とした有志、大学関係者等
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・矢板市は、広大な里山林や水資源に恵まれた地域であるが、日常生活の中でそのような環境に親しむための場が少なくなっているのが現状である。 ・環境保全意識や郷土愛醸成のためには、市民自らが地域の「ヒト・モノ・コト」を再発見することが必要であるが、現状そのような機会は少ない。
事業目的	<p>「環境文化都市やいた創造会議」が実施する環境教育・環境保全活動を支援すること。 地域住民や地域外からの来訪者が市内の恵まれた自然環境や地域の「ヒト・モノ・コト」の再発見を通じて、地域の活性化を図ること。 事業を実施する組織の支援を通じて、市民の自主的で持続的な活動を促していくこと。</p>
事業概要	<p>【2019年度】</p> <p>①総会の実施 ②これまで市が実施した環境概況調査の結果をまとめ、調査域周辺の生き物マップを作成した。 ③環境学習イベントの実施 大学等研究者やアウトドア事業者と連携しながら、市民が楽しみながら地域の環境の豊かさに気づくためのイベントを計画したものの、一部事業については荒天や台風19号や記録的な暖冬等の天候による中止や、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止を余儀なくされた。 1)市内河川を利用した川遊び体験会(2019年8月10日実施・運営スタッフ含め、約40名が参加) 8月下旬に市内の川崎城跡公園にて実施される「あんどん祭り」に向け、公園の環境整備をボランティア参加のもと実施。 併せて宇都宮大学の教員、学生による自然観察会を実施するとともに、川での安全な遊び方の講習会をガイドの指導の下 実施した。市内外の未就学～小学生と保護者が参加することで、ボランティア意識の醸成と市の環境を実感する機会とした。 また、後日実施されるあんどん祭りの事前準備とすることで、祭りへの参加意欲を高める機会とした。</p> <p>2)埴田ダムにおけるカヤック体験・ピオトープにおける生き物調査(※9/16予定・荒天のため中止) 40名の定員に対し、限内外から定員を上回る申込があったものの、当日は荒天および気温低下のため、安全を考慮し中止とした。1カ月程度の準備期間を置き、再度実施する予定であったが、台風19号の襲来により実施予定場所の周辺が被害を受けたことや、ダムも満水状態となり危険なため、開催を断念した。</p> <p>3)豊かな里山を象徴するフクロウの保護活動および自然観察会(※コロナウイルス蔓延防止のため中止) 里山林の整備(間伐体験)により搬出した木材を、台風19号被害からの復旧工事において不足している木杭に加工し、必要とする各所に寄付する計画として準備していたが、新型コロナウイルス蔓延防止のため、中止とした。</p> <p>【2020年度以降】</p> <p>目標:各世代を支援する KPI:児童生徒におけるふるさとへの愛着度(%) 現状値(H26) 実績なし → 90.0(H31)</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	2019年度	2020年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業費	1,099,222	1,185,000	2,284,222	
市町支出金(ソフト事業分)	1,027,000	1,027,000	2,054,000	
うち県交付金	513,500	513,500	1,027,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	
その他自主財源等	72,222	158,000	230,222	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	くらし安全環境課 環境担当
担当者名	山下 友太郎
電話	0287-43-6755
連絡先 FAX	
E-mail	kankyo@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	
単位事業名	「環境文化都市やいた創造会議」事業	
対象年度	2019	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	1,027,000	
参加料	0	
前年度繰越金	72,222	
雑収入	0	
計	1,099,222	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
食糧費	7,350	0	0	7,350	会議・イベント時飲料等
報償費	15,000	15,000	7,500	0	講師等謝金
消耗品費	86,718	85,000	42,500	1,718	事務・イベント用消耗品
印刷製本費	0	0	0	0	
火災保険料	0	0	0	0	
通信運搬費	2,640	2,000	1,000	640	通知等郵送料
委託料	409,610	409,000	204,500	610	生き物マップ制作委託費 イベント運営委託費
備品購入費	521,100	516,000	258,000	5,100	野外観察会用備品 (カヤック・ライフジャケット他 安全管理用備品)
次年度繰越金	56,804	0	0	56,804	
計	1,099,222	1,027,000	513,500	72,222	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	「日本遺産」プロモーション事業
事業主体の名称	泉交流協議会
代表者の名称	会長 森戸康雄
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:魅力ある地域づくりのため、泉地区を中心とした観光・文化施設等のネットワーク化を推進し、地域間交流や情報発信等を実施することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成23年11月30日</p> <p>・構成員等:活動の趣旨に賛同する企業・団体等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>平成27年度から「HAPPY HAPPO Project」として情報誌やホームページ、SNS等でイベントの告知や周知を実施したことにより、八方ヶ原や泉民の森のエリアの観光客も年々増加している。また、市内の「山縣有朋記念館」「矢板武旧宅」「山縣農場」「矢板のリンゴ」が構成文化財となっている「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」が平成30年5月に日本遺産に認定された。</p> <p>このような状況の中、観光客による経済効果を高めるため、市街地への誘客が課題となっている。</p>
事業目的	「HAPPY HAPPO Project」と「日本遺産」の相乗効果により、相互にプロモーションをすることで周遊を促し、滞在時間を延ばすとともに、市内店舗へ立ち寄っていただくための仕掛けを行い、経済波及効果と来訪者の行動分析を目的とする。
事業概要	<p>①Instagramによるプロモーション 若い世代や海外で一番選ばれているツールであるInstagramを活用し、より多くの方に矢板市の観光や見どころ、グルメ情報などを発信した。</p> <p>②矢板のグルメ紹介冊子の制作 観光の重要な要素である「食」に特化したグルメ冊子を作成し、観光客に市内の飲食店等に立ち寄るよう促した。</p> <p>③市内周遊促進のためのクーポン券発行事業 おしらの滝や八方ヶ原に来たお客様に市内周遊を促し、観光客による経済波及効果を狙い、市内店舗・施設等で使えるクーポン券付チラシを発行した。</p> <p>その他(本補助事業費充当以外) 泉地区における観光の中心である八方ヶ原に群生するつつじの枯れ枝除去等、環境整備を市内ボランティアを中心に実施した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H30実績:1,849,093]</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H30実績:1,152,762]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容		2019年度	2020年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業費		4,871,314	1,850,000	6,721,314	1,850,000
市町支出金 (ソフト事業分)	うち県交付金	4,500,000	1,850,000	6,350,000	
	うち県交付金	1,000,000	925,000	1,925,000	
市町支出金 (ハード事業分)	うち県交付金	0	0	0	0
	うち県交付金	0	0	0	0
その他自主財源等		0	371,314	371,314	1,850,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工林業観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	
単位事業名	「日本遺産」プロモーション事業	
対象年度	2019	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	4,500,000	本プロモーション事業に係る補助金:420万円 ※本事業にかかる収支決算については、別添決算書内の事業費として支出。その内訳については別添②特別会計を参照されたい。 その他:泉交流協議会運営補助金:30万円
繰越金	153,375	
雑収入	217,939	利息、スタンプラリー参加商品販売代金
計	4,871,314	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	122,440	70,000	0	52,440	③市内周遊クーポン券発行代金
印刷製本費	1,950,232	1,900,000	500,000	50,232	②矢板のグルメ冊子制作・印刷発行費
委託料	2,377,416	2,300,000	500,000	77,416	①SNSプロモーション業務委託・周遊アプリ構築委託費 会議時お茶代
食糧費	2,880	0	0	2,880	
消耗品費	0	0	0	0	
手数料	652	0	0	652	振込手数料
通信運搬費	28,420	0	0	28,420	切手・郵送料
使用料	4,838	0	0	4,838	HP関連使用料
事業費	230,660	230,000	0	660	八方ヶ原枯れ枝除去作業事業費
次年度繰越金	153,776	0	0	153,776	
計	4,871,314	4,500,000	1,000,000	371,314	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	「Jプロツアー」
事業主体の名称	2019やいた片岡ロードレース実行委員会
代表者の名称	会長 千野根 友和
事業主体の所在	矢板市鹿島町9番5号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)の所管するJBCFロードレースシリーズ大会をJBCFとの共催による矢板市での共催を通して、市内外からの来場者に対し、地場産品等の特産品のPRや矢板市関連情報の発信及びPRを行うことにより、地域活性化及び観光振興に資することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成31年2月1日</p> <p>・構成員等:矢板市商工会青年部、(一社)たかはらさくら青年会議所、那須高原オールスポーツアソシエーション矢板支部等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	平成29年度から全日本実業団自転車競技連盟(JBCF)の所管するJBCFロードレースシリーズ大会を片岡駅西口周辺～コロナ矢板周辺を周回コースとして実施しており、今年度で3回目となる。地元の方々の賛同と協力により、年々来場者も増えているため、本事業の安定的な運営と民間協働の推進が必要である。
事業目的	<p>日本最高峰のトップチームによって争われる自転車ロードレースであるJBCF主催の「Jプロツアー」は、全国からロードレースファンが集まるイベントである。また、矢板市は官民をあげて「自転車を活用したまちづくり」に取り組んでおり、八方ヶ原ヒルクライムレースの開催や「じてんしゃの駅」の設置、サイクリングマップの作成などのほかにプロレースの誘致等を行っている。</p> <p>矢板市の有志とJBCFが共催することにより、市の特性を活かしたコース設定、賞品等、企画運営に携わることができ、矢板市の魅力を市内外の方にPRする絶好の機会ととらえている。イベント時に来訪した市内外からの来場者に対し、地場産品等の特産品のPRや矢板市における自転車環境など関連情報の発信及びPRを行うことにより、観光として来訪した方が矢板市へサイクリングに来る、練習に来る、レースに参加するといった流れをつくることをはじめとした地域活性化及び観光振興に資することを目的とする。</p>
事業概要	<p>○やいた片岡ロードレースの企画並びに運営を実施した(令和元年6月9日開催)。/ ○関係機関、団体との連絡調整。 ○その他、やいた片岡ロードレースを開催にすにあたり必要な事業の企画並びに運営。/ ○レース会場周辺における地場産品のPRや販売、「じてんしゃのまち矢板」としての観光情報等の発信。/ レース当日は、大会エントリー数が514名、大会ボランティア約250名が参加し、会場、コースの安全管理に協力頂いた。来客数は約10,000名であり、ボランティアを含め、「自転車王国」栃木県、「じてんしゃのまち矢板」のPRに一定の効果があつたと思料される。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI:スポーツ交流人口数(人) 149,481(H29)⇒200,000(H31) [H30実績:170,481]</p> <p>ゴルフ場以外の交流人口数(人) 43,281(H29)⇒92,800(H31) [H30実績:78,707]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	2019年度		2020年度		支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	やいた片岡ロードレースの企画・運営	やいた片岡ロードレースの企画・運営	やいた片岡ロードレースの企画・運営	やいた片岡ロードレースの企画・運営		
事業費	5,580,000	5,000,000	10,580,000	5,000,000		
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	4,000,000			
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	2,000,000			
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0		0
うち県交付金	0	0	0	0		
その他自主財源等	0	3,580,000	3,000,000	6,580,000		5,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工林業観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	和気 千晴
電話	0287-43-6211
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	svyoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	
単位事業名	「Jプロツアー」事業	
対象年度	2019	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
協賛金	3,580,000	協賛企業より
出展料	0	
補助金	2,000,000	矢板市より ※市からは大会実施負担金として支出
計	5,580,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	788,421	0		788,421	選手賞金、執行役員報償費 ステージゲスト出演料
消耗品費	240,008	0		240,008	事務用消耗品、スタッフTシャツ 作成費
食糧費	319,211	0		319,211	スタッフ弁当等
印刷製本費	0	0		0	ポスター・チラシ等印刷費
通信運搬費	21,636	0		21,636	郵送・電話代
委託料	3,587,213	2,000,000	1,000,000	1,587,213	会場設営・警備委託費 チラシ制作委託費
使用料及び賃借料	72,500	0		72,500	無線機レンタル代
広告宣伝費	135,434	0		135,434	新聞広告掲載費
手数料	415,048	0		415,048	振込手数料・協賛事務手数料
次年度繰越金	529	0		529	
計	5,580,000	2,000,000	1,000,000	3,580,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合